

# 学び つながり 切り拓く

# 岳景

帯広市立八千代中学校 学校だより

大勢の方に見ていただきありがとうございます。2学期も毎日更新して八千代中生の活躍を紹介していきます。



令和5年7月21日(金) No.7 校長 嘉藤 貴充

- 祝 八千代中ソフトテニス部 男子団体 全道中体連大会出場
- 祝 八千代中ソフトテニス部 女子団体 全道中体連大会出場
- 祝 八千代中ソフトテニス部 長尾・松田組 全道中体連大会出場
- 祝 八千代中ソフトテニス部 猪股・石橋組 全道中体連大会出場
- 祝 八千代中ソフトテニス部 吉田・安田組 全道中体連大会出場
- 祝 藤原 有梨沙 テニス シングル 全国大会出場

この見出しの一行一行を、何十時間何百時間という練習が支えています。そしてその練習を支えてくれる周囲の人がいることを忘れずに。自分一人ではテニスはできません。相手がいることへの感謝。環境を整えてくれる人への感謝。テニスができる環境って具体的には何でしょうか。

「ゾウから長い鼻をとったらゾウではなくなる。キリンから長い首をとったらキリンでなくなる。これと同じように、人間から何をとったら人間でなくなるか？」という問題を思い出しました。

7月28日(金)から帯広の森で開催される全道大会で今までの成果を発揮してきてください。なお、藤原さんはテニスのクラブチームに所属しており、中体連主催ではない北海道の大会でシングルス第3位となり、全国大会出場を決定しました。



## ↑おび学「食育」

6月29日、市役所から講師をお招きして食育の授業が行われました。練習の成果を最大限に発揮とテレビ画面に出ています。コート上のプレイと日常生活。これは一如(いちによ)なのです。

## 〈交通安全教室〉

昨年1年間で7万件もの自転車乗車中の死傷事故があったこと、そのうち1985人が亡くなっていること。更に1/4は自転車の単独事故で亡くなっていることなどのお話がありました。自転車運転者が、歩行者に損害を加えてしまうこともあります。免許が要らないゆえに好き勝手に運転してしまいがちですが、道路交通法というしっかりとしたルールがあります。なお、本校ではヘルメット着用率・自転車整備率ともに100%です。



## ◆JA かわにし青果部見学

総合的な学習の時間の一環で1・3年が JA かわにし青果部の工場を見学しました。大きな建物の中で、見たこともない大きな機械で農産物を出荷するまでの過程を見学しました。中学生からはもちろんのこと、大人（引率教員）からもたくさんの質問が出ました。これが主体的な学びの姿です。



## ◆街頭インタビュー まち探索

総合的な学習の時間の一環で2学年が大型商業施設で街頭インタビューを行い、さらに修学旅行の事前学習もかねて、まち探索を行いました。アンケートの質問は、かなり切り込んだ内容でしたが、街行く人は八千代中学生の願いに親切に答えてくれました。



→アンケートの回答に使用したペンを消毒しているようです。

←お客さんを撮れないので八千代中しか写っていませんが、商業施設の中のような様子。



## ◆今後の予定◆

- 7月21日（金）終業式 生徒会企画
- 7月28日（金）北海道中学校ソフトテニス大会（～7月30日・帯広の森）
- 8月14日（月）閉庁日（～8月16日）
- 8月18日（金）始業式 八広の日  
交通安全指導 5時間授業
- 8月21日（月）生徒会常任委員会
- 8月23日（水）職員会議 5時間授業
- 8月26日（土）帯広市中学生連秋季ソフトテニス大会 個人戦
- 8月27日（日）帯広市中学生連秋季ソフトテニス大会 団体戦
- 8月28日（月）5時間授業
- 8月30日（水）2学年学力テスト
- 8月31日（木）3学年バス学習
- 9月1日（金）八千代中学校開校記念日
- 9月2日（土）帯広市中学生連秋季ソフトテニス大会 予備日
- 9月4日（月）生徒会常任委員会
- 9月5日（火）選挙管理委員会
- 9月6日（水）帯教研 3時間授業 給食あり
- 9月9日（土）全十勝ソフトテニス秋季大会 個人戦
- 9月10日（日）全十勝ソフトテニス秋季大会 団体戦
- 9月11日（月）職員会議 5時間授業
- 9月18日（月）敬老の日
- 9月21日（木）生徒会役員選挙
- 9月30日（土）八千代中文化祭
- 10月2日（月）は振休



## 八広コミュニティ・スクール

6月27日（火）、八広コミュニティ・スクール協議会（略してCS）が行われました。昨年度に引き続き、今年度も**地域の防災**を軸に活動を展開していきます。

大雨の際、戸蔭別川付近の方は避難所の開設を望んでいること。帯広の森体育館に避難するという指示は実態に即していないこと。停電時に自家発電できる家があること。独居で安否の確認が必要な件数。学校を避難所として開設する非常時の手順など、**自立した防災意識と行動力が必要である**ことが浮き彫りになりました。